

令和8年度「シラバス」 教科：家庭 科目：家庭基礎

単位数	2	学科（型） 学年	機械科 2	教科書 副教材等	New Creative Living『家庭基礎で生活をつくろう』（大修館書店） 家庭科ノート・調理実習ノート(愛媛県高等学校家庭科研究会)
学習目標		・生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、自立した生活ができるようにする。 ・実習を通して「ものづくり」の楽しさを体感し、家庭科への興味・関心を持つ。 ・授業で得た知識・技術を家庭生活や地域社会の充実に向上に活かし実践的態度を育てる。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第1章 人の一生と生活のマネジメント ・ライフステージと発達課題、自立 ・意思決定とライフコース 第2章 家族・家庭生活のマネジメント ・家族と家庭 ・これからの家庭・社会 第3章 子どもの生活のマネジメント ・乳幼児の心身の発達 ・子どもの生活 ・子育て支援 期末考査 第4章 高齢期の生活のマネジメント ・高齢者の生活と福祉 ホームプロジェクト（夏期休業中課題）			・家庭科を学ぶことで、身に付けた知識と技術を使って生活をマネジメントすることができるようになることを認識する。 ・自立して生活するために必要なこと、生活課題に対する意思決定の重要性、様々な生き方があることを理解し、将来の生活をイメージしながら生活設計ができる。 ・家族の特徴、家族の問題、家族・家庭の法律や制度、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について学び、様々な生活課題への対応と行動について考える。 ・子どもの心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く環境や子育て支援について学び、子どもと適切に関わる基礎的な技能を身に付け、子どもの成長・発達のためにできることを考える。 ・高齢者の生活や福祉について学び、高齢者の生活を支援する介助の技能を身に付け、家族の果たす役割、高齢者の支援のためにできることを考える。 ・自己の家庭生活から課題を見出し、課題解決を目指して主体的に計画、実践、振り返りを行うことができる。	
	第8章 衣生活のマネジメント ・被服の条件、被服材料と性能 ・被服の管理、資源としての被服 ・小物製作 第7章 食生活のマネジメント ・食事の役割、食生活の見直し ・栄養と食品 ・食品の選び方 ・献立と調理（調理実習） 期末考査			・被服の機能と着装、被服材料、安全な着装、環境に配慮した被服計画と管理について学び、健康で快適な衣生活を営むことができる。 ・布小物の製作を通して、環境問題について考え、持続可能な衣生活の実践につなげる。 ・栄養と食事、食文化、食品と調理、食品の選択や衛生、環境への配慮、自分や家族の栄養の特徴を踏まえた献立作成について学び、調理実習を通して、調理の技能を身に付け、健康で環境に配慮した食生活を送れるようにする。	
	第9章 住生活のマネジメント ・住生活を考える ・これからの住生活 第6章 経済生活のマネジメント ・私たちの暮らしと経済 ・私たちの消費生活と環境 学年末考査			・住まいの役割や住文化、住環境について学び、健康で快適に、かつ安全で環境に配慮した住生活が営めるようにする。 ・住まいの防災と減災について、自分たちにできることを考える。 ・経済的に自立、働くことについて様々な側面から考え、進路や仕事の選択に生かせる。 ・消費者問題について学び、被害者あるいは加害者にならない技能を身に付ける。また、資産形成について考えることができる。	
	評価の観点		内 容		
知識・技能		・食と健康、子どもの発達、衣服素材など生活の中の科学を学び、生活を再発見することで、向上していくための知識を身に付け、基本的な調理技術や被服技術など様々な生活技術を身に付けている。			
思考・判断・表現		・生涯を見通して、生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、課題解決する力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・各ライフステージにおける現代の特性を知り、将来の自らの生活と重ねることで家庭科学習への関心を深め、学び、実践しようとする意欲へつなげていく。			
評価方法	定期考査（各学期末）、学習態度、実習態度、実習作品、ホームプロジェクト、ノート、課題提出等を含め、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 授業中のノートは確実に記録しましょう。 ○ 課題の期限は厳守しましょう。 ○ 実習やグループワークには積極的に参加しましょう。 ○ 私たち一人一人が自己実現に向かうには、健康な心身が何よりも必要です。健康を維持、増進するためには、食生活をきちんと行うだけでなく、衣生活や住生活を整えることも大切です。そのために必要な知識や技術を身に付け、日々の生活の中で実践していきましょう。					